

## 01 ビジョンの位置づけ・目的

### ▶策定の背景と目的及び対象区域

周南市では、徳山港～徳山駅～市役所～徳山公園までの区間を『都心軸』と位置づけ、周南地域の中心都市にふさわしい魅力ある拠点の形成を図ることとしています。

今後は、更なる各エリアの拠点性の強化と合わせ、官民が一体となって、**回遊性を生み出し、都心軸全体に賑わいを広げることが求められています。**

本ビジョンは、**中心市街地の都心軸におけるまちづくりの基本的な計画**として位置づけ、都心軸の将来像（ビジョン）を共有するとともに、拠点性および回遊性の強化に向けた施策を取りまとめ、**持続可能でウォーカブルなまちづくり**を官民連携で進めることを目的とします。



### ▶都心軸の位置づけ

都心軸は、徳山港～徳山駅～市役所～徳山公園までの区間とし、本市の顔となるシンボリックな性格を持っています。この区域のレクリエーション・交通拠点にはフェリーターミナル、商業業務・交通拠点には商店街やオフィス・徳山駅など、行政拠点には市役所や山口県周南総合庁舎など、市民・文化拠点には動物園や文化会館など、拠点周辺には公園緑地があり、住宅地が広がっています。

また、景観計画における景観形成重点地区に指定されており、周南市を象徴する場所として魅力ある空間づくりが求められます。

#### 【都心軸の拠点性および回遊性の強化に向けたこれまでの取組】

徳山駅周辺整備・官民連携による管理運営・市街地再開発・フェリーターミナル整備・動物園リニューアル・自動運転EVバス実証運行・市役所本庁舎建設・道路空間整備

## 02 まちの現況把握及び分析

### ▶拠点ごとのターゲット設定

#### 市民・文化拠点

休日の滞在時間30分以上の子育て/中年層  
平日のシニア層の人流

#### 商業業務・交通拠点

休日の若者の人流  
平日の滞在時間30分以上の若年/子育て層

#### 行政拠点

平日の来街者の人流  
平日の子育て/中年層の人流

#### レクリエーション・交通拠点

休日の滞在時間30分以上の若年層  
平日の滞在時間30分以上の子育て/中年層

### ▶行動目的別・ターゲット別の課題

行動目的	ターゲットごとの課題
平日生活利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各拠点・エリアごとの小さな回遊（共通）</li> <li>● 趣味・娯楽機能の充実（若年層）</li> <li>● 休憩環境・飲食の充実（子育て層）</li> <li>● 日常利用を支える休憩・滞在環境の充実（シニア層）</li> </ul>
通勤・通学利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 趣味・娯楽施設の誘致（学生）</li> <li>● 日常的に気軽に利用できるパブリックスペースの充実（学生）</li> <li>● 短時間でも過ごせる滞在環境の整備（通勤者）</li> </ul>
休日非日常利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共的な待合場所や休憩できる空間（来街者）</li> <li>● 娯楽施設や飲食施設の充実（若年層）</li> <li>● 子ども向けの遊び場（子育て層）</li> <li>● 安全な歩行空間（シニア層）</li> <li>● 御幸通や岐山通の綺麗なまちなみ景観の創出（若年層）</li> </ul>
ビジネス利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仕事や休憩ができる空間（勤務者）</li> <li>● 飲食などの滞留空間と安全な歩行空間（勤務者）</li> <li>● 魅力的なまちなみ空間の創出（勤務者）</li> <li>● 飲食・買い物・移動の利便性向上（勤務者）</li> </ul>
観光利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゆっくり過ごせる飲食・休憩・交流空間（ファミリー層）</li> <li>● 安心して移動・回遊できる移動手段や歩行空間（ファミリー層・シニア層）</li> </ul>

### 03 まちづくり基本方針

#### ▶中心市街地活性化の方針

「まちのストックを活かした、豊かな心を育む 公園都市（パークタウン）周南」  
 「まちの資源を活かした、誰もが主役になれるまち 公園都市（パークタウン）周南」

#### ▶課題解決に向けた方向性

##### ①拠点性を高める（小さな回遊を高める）視点

- 各拠点や利用目的に応じた滞留の場・回遊づくり
- 生活サービス施設等の充実による消費拡大
- 安全で快適に過ごせる空間の確保

拠点機能の強化

##### ②拠点をつなぐ（大きな回遊を高める）視点

- 中心市街地の統一的な街並みの形成
- 先進技術を活用した交通ネットワークの強化
- 地域イベントや交流の場づくり

拠点間の連携強化

##### ③憩いと交流の視点

- 公共的な休憩スペースの整備
- エリアごとの特性を活かした公園・道路等の空間活用
- 良質なまちなみ・デザインによる魅力ある空間づくり

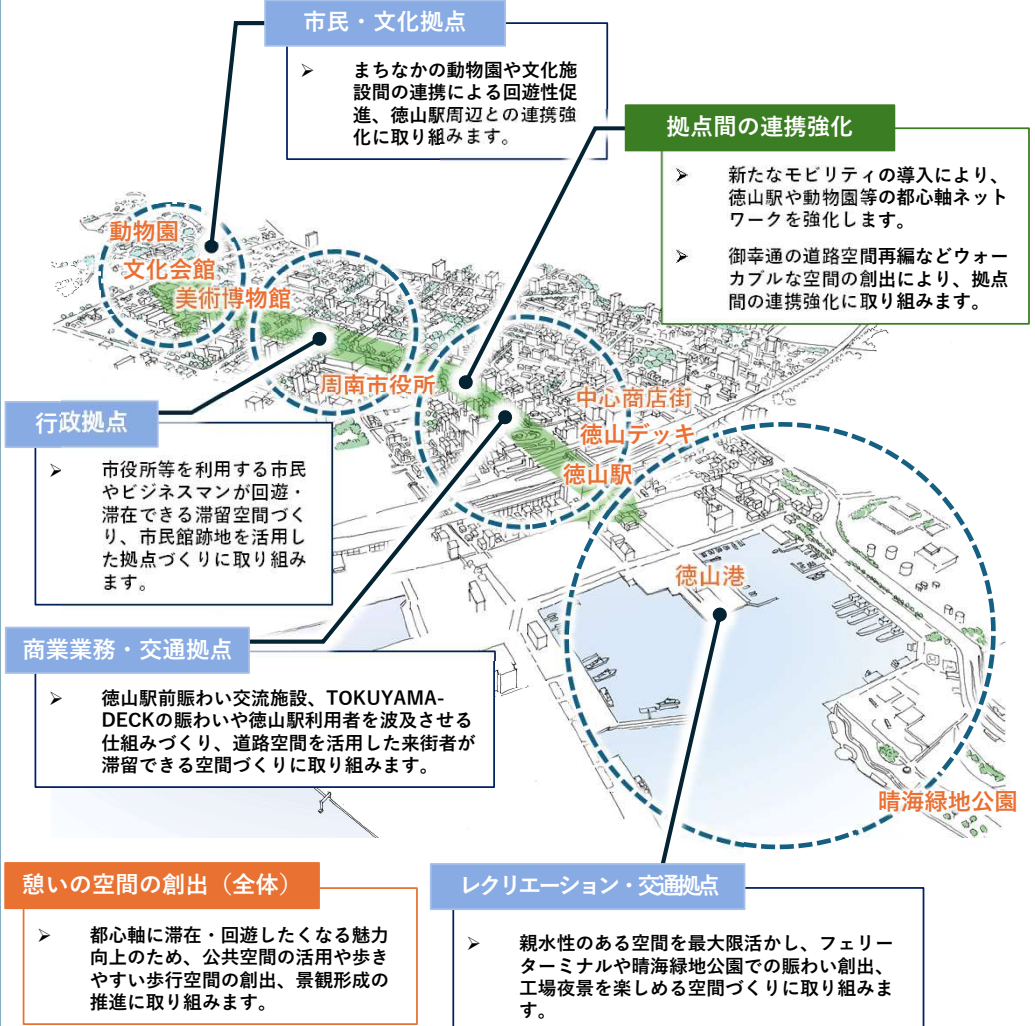
憩いの空間の創出

#### ▶ウォーカブルなまちづくりの考え方

拠点機能の強化・拠点間の連携強化・憩いの空間の創出を方針とし、官民連携や先進技術の活用により、推進します。

「居心地よく歩いて過ごしたくなるまち」

#### ▶ウォーカブルなまちづくりの考え方 [将来イメージ]

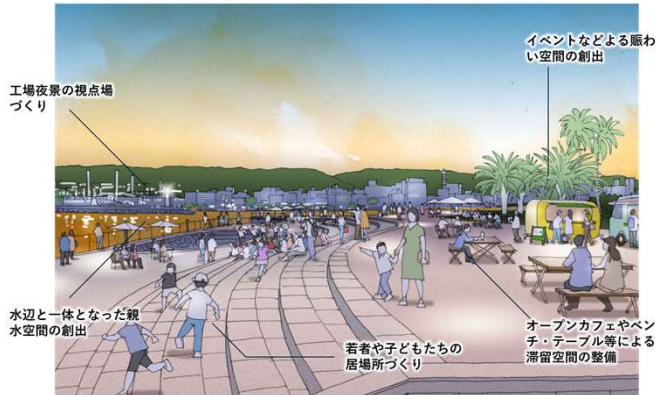


## 03 まちづくり基本方針

### ▶実現イメージ

#### 拠点機能の強化

晴海緑地公園の親水性を活かした  
新たな魅力による拠点形成



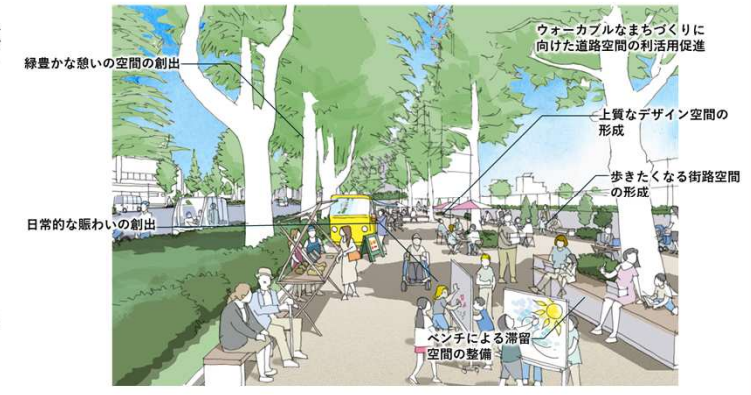
#### 拠点間の連携強化

多様なモビリティにより観光客や周辺居住者が  
回遊しやすい都心軸の街路形成



#### 憩いの空間の創出

道路空間の再編と広場化による日常の来街・回遊・  
滞在につながる空間形成



## 04 基本方針に基づく各取組

### ▶取組（抜粋）

#### 拠点機能の強化

##### 市民・文化拠点

- 官民連携による徳山動物園のリニューアルの推進

##### 行政拠点

- 市民館跡地の利活用の検討、子育て世代の滞在につながる子どもが安全に遊べる場づくり

##### 商業業務・交通拠点

- 御幸通の道路空間再編などウォーカブルな空間創出による滞留・回遊の促進

##### レクリエーション・交通拠点

- 晴海緑地公園など港側における滞留空間の創出 等

#### 拠点間の連携強化

##### 移動・回遊できる仕組みづくり

- 歩行者の移動をサポートする電動キックボードやシェアサイクルの導入検討
- 徳山駅や動物園等の都心軸ネットワークを強化する自動運転バス等の新たなモビリティの導入検討
- XRコンテンツの開発による都心軸内の回遊性向上
- 移動・回遊を促進するための駐車場の利用効率化
- 桜並木など徳山の歴史と文化を堪能するまち歩きによる回遊性向上 等

#### 憩いの空間の創出

##### 公共空間の利活用

- 道路空間でのオープンカフェ、マーケット等（食事施設・購買施設等）の取組推進

##### 景観形成の推進

- 若者や市外からの来街を誘発する良質で魅力ある滞留空間の確保と空間デザインによる周辺施設への誘導

##### 道路の再編

- 御幸通の道路空間の再編、滞在快適性等向上区域や歩行者利便増進道路制度の設定など道路空間の利活用促進に向けた取組を推進 等

▶取組（抜粋）

官民連携まちづくり

- 官民連携による公共空間（道路・公園等）の利用促進と効率的で効果的な維持管理の推進
- イベントや社会実験における民間事業者の取組推進
- 官民が一体となったエリアマネジメントの推進 等

デジタル技術の活用

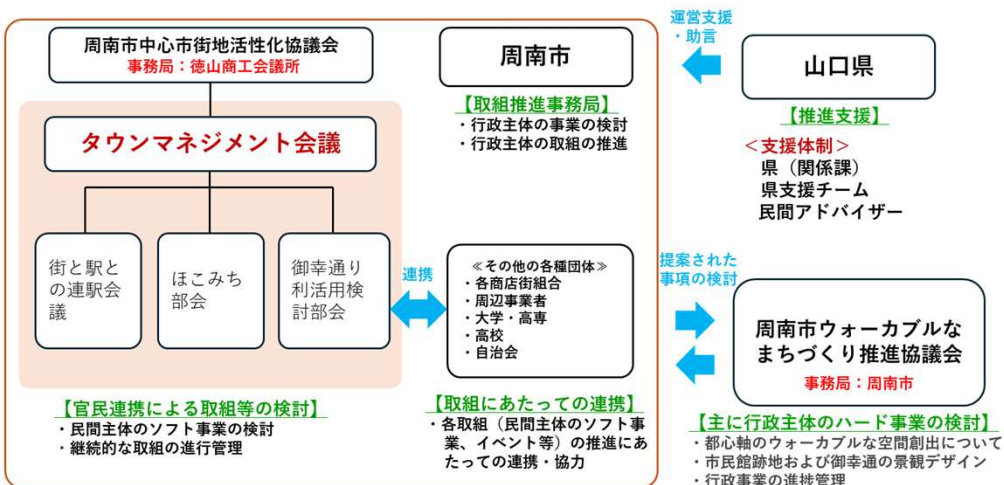
- 3D都市モデルを活用した民間事業者との将来イメージの共有と市民への発信
- ネットワークの強化、移動支援における新たな技術の導入の検討
- VRによる施設整備シミュレーションによる事業検討
- AIカメラ等による滞留・回遊性の効果検証 等

05 実現のための課題・プロセス

▶実現のための推進体制

まちづくり方針の実現、施策の実施に向けては行政と民間が一体となって取り組むことが重要です。

今後は、タウンマネジメント会議と周南市がこれまで以上に連携し、山口県も含め、適切な役割分担のもと本計画を推進していきます。併せて、学識経験者などの専門家、地元関係団体などで構成される周南市ウォーカブルなまちづくり推進協議会とともに計画の実現に向けて、各取組を推進します。



▶実現に向けたプロセスと課題

実現に向けたステップとして、大きく3つのフェーズと全体マネジメントにより構成します。

官民が適切な役割分担のもと3つのフェーズを進め、周南市とタウンマネジメント会議が、実施計画の策定から事業実施時の進捗確認、マネジメントを行い、本計画の方針の実現に向け、必要に応じて更新しながら官民一体で進めていきます。

